

松戸と水戸徳川家

—幕末・明治を中心に—

日時 平成24年2月4日(土) 13:00~14:30

会場 聖徳大学生涯学習社会貢献センター
(聖徳大学10号館)

定員 150名(事前申込不要・入退場自由)

参加費
無料

..... 内 容

現在の千葉県松戸市小金にあった小金宿。そこに水戸藩は独自の本陣を設けていた。水戸藩第9代藩主 徳川斉昭が幕府より強制隠居と謹慎処分を受けると、多くの藩士が江戸に向かおうとした。その中で、小金宿はどのような役割をはたしたのだろうか。

また、戸定郎(千葉県松戸市)に隠居した水戸藩最後の藩主 徳川昭武が、松戸について残した様々な資料から、当時の庶民の様子など松戸歴史をひも解く。

講演者

大庭 邦彦(聖徳大学人文学部日本文化学科教授)

専門分野: 日本近代史

研究内容: 幕末・維新政治史研究、明治立憲制成立過程の研究

平成 5年3月 早稲田大学大学院文学研究科日本史専攻博士後期
課程単位取得満期退学

平成 8年4月 千葉県史編さん委員会近現代史部会調査執筆員

平成17年4月 聖徳大学人文学部日本文化学科教授



後援 松戸市教育委員会・市川市教育委員会・柏市教育委員会・取手市教育委員会

お問い合わせ>>>>>

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550

聖徳大学言語文化研究所(知財戦略課)

電話: **047-365-1111** (大代)

ホームページアドレス

<http://www.seitoku.ac.jp/kenkyujyo/gengo/>

